

感謝を力に

Focus Vol.55

長洲町でキラリ輝く人たち

発行／熊本県長洲町 編集／まちづくり課
URL <http://www.town.nagasu.lg.jp/>

〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766

☎09698(78)3111

■印刷／フコニ印刷
※この広報紙は地域環境にやさしい
植物油型インキを使用しています。

つちやま よしてる
土山 善輝さん
(46歳 赤田)

学童・少年軟式野球チーム監督

プロフィール

平成19年4月に小学生軟式野球チーム、荒尾Jドリームを創部。平成28年4月には同チームの中学生チームとして荒尾J・BBC（ベースボールクラブ）を創部。ことし10月、11月に開催された文部科学大臣杯第9回全日本少年春季軟式野球大会熊本県大会、九州大会と優勝し、全国大会出場への切符を手にした。

3月に静岡県で開催される全国大会での活躍が期待される。



「素直にうれしいです。選手たちと目標にしていた全国大会に行けるので、気を引き締めて日々を過ごしています」

全国大会初出場の喜びを話す土山善輝さんの指導者としての道は10年前から始まった。当時、軟式野球と言えば玉名郡市のチームが有名だった。息子が小学校6年生のとき、荒尾市や長洲町の子どもの受け皿になればと小学生チームを立ち上げ、平成28年には荒尾J・BBC（中学生チーム）も始動し、2年目で全国大会への切符を手にした。

個性を大事にするチームづくり

人と比べるのではなく、選手の良いところを見つけて、本人に伝える。長所を伸ばす指導を心がけてきた。チームを支えてくれる保護者やOBへの感謝を忘れないこともチームのコンセプトのひとつだ。「選手たちと同じ目標を立てて、練習や試合を繰り返すなかで、大きな達成感や感動を与えてもらっています」と指導者としてのやりがいも感じている。

『感謝を力に』

このチームスローガンは、10年前の1期生たちが、中学生チーム創部のときにくれた言葉だ。練習ではOBも積極的に指導に携わり、選手たちの憧れや目標になっている。「九州大会には、

遠方まで多くのOBやその保護者が応援に駆け付けてくれました。積み重ねてきた伝統と繋がりの大切さを改めて実感しました。優勝の瞬間は胸が熱くなりました」と、多くの支えを実感した大会となった。

全国大会へ向けて

「1戦必勝で全力を出し切りたいです。日々の練習の成果を発揮して、全員野球で挑みます」と力強く意気込みを語る土山さん。「強いチームである前に、礼儀やあいさつがきちんとして、周りから応援してもらえるチームであることが理想です」と目指すチーム像を話す。

筆者がグラウンドに入るなり次々にあいさつをしてくれた選手たち。土山さんの想いは着実に選手たちに伝わっているようだ。3月に荒尾J・BBCの選手たちが感謝を力に変えて、全国の舞台で躍動する。



練習する選手たちの背中には「感謝を力に」の文字